

IV 地区別の再編整備の方向

全地区共通

- ・地域や学校関係者等との意見交換の場を設定し、地域や県民の理解を得ながら取組を推進
- ・学科やコース等の見直し
- ・通学状況等に応じて、地区内を分けたり隣接地区を含めたりして検討

渋川・吾妻

R3年度:7校→R13年度:7~4校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・各校の一層の特色化
- ・県内唯一の福祉科を福祉の学びの拠点として維持
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制の在り方について検討

高崎・安中

R3年度:11校→R13年度:11~8校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・工業、商業の学科の拠点となる学校を整備
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制、通信制の在り方について検討
- ・市教育委員会との連携

藤岡・多野・富岡・甘楽

R3年度:7校→R13年度:7~4校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・各校の一層の特色化
- ・専門学科の在り方について検討
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制の在り方について検討

沼田・利根

沼田・利根

R3年度:5校→R13年度:5~2校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制の在り方について検討
- ・利根沼田学校組合との連携

前橋

R3年度:9校→R13年度:9~8校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・農業、工業、商業の学科の拠点となる学校を整備
- ・定時制、通信制の在り方について検討
- ・市教育委員会との連携

桐生・みどり

R3年度:5校→R13年度:5~4校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・令和3年度の再編整備を踏まえての各校の一層の特色化
- ・定時制、通信制の在り方について検討
- ・市教育委員会との連携

太田・館林・邑楽

R3年度:12校→R13年度:12~10校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・各校の一層の特色化
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制、通信制の在り方について検討
- ・市教育委員会との連携

伊勢崎・佐波

伊勢崎・佐波

R3年度:6校→R13年度:6~5校(見込み)

- ・一定規模の地区の中核となる普通科の学校を維持
- ・各校の一層の特色化
- ・小規模校の在り方について検討
- ・定時制の在り方について検討
- ・市教育委員会との連携

太田・館林・邑楽